



東岡崎駅前

(愛知県岡崎市)

東野さんは愛知の会社にエンジニアとしてお勤めになっていた期間も長く、本作には愛知の様々な場所が登場するのも大きな楽しみです。



篠目

(愛知県安城市)

五代は車窓の外に目を移した。道路は広く、歩道も広い。その道路に面して、民家や商店が建っていた。高層の建物が見当たらない代わり、民家にしろ店にしろ、敷地をたっぷりと使っている。こんなところに住み慣れたら、東京の密集した住宅地では暮らせないだろう、と五代は思った。

——(本文より)

倉木達郎の自宅は安城市篠目にある。白石健介が殺される約一カ月前の十月二日、倉木は白石法律事務所に通話をかけている。そのため、五代は倉木から話を聞くため、篠目を訪れている。

三十数年前、名古屋鉄道東岡崎駅近くの雑居ビルの一室で、金融業を営んでいた灰谷昭造が胸を刺され、殺害された。事件発生から3日後、警察は電器店を営む福間淳二を逮捕。だが、その4日後、福間は警察署の留置場で首吊り自殺を図る。この福間が門前仲町で小料理店『あすなる』を経営する浅羽洋子の夫だった。



愛知県